



令和4年9月27日

各 位

会 社 名 近鉄グループホールディングス 株式会社  
代 表 者 名 取締役社長 小 倉 敏 秀  
コ ー ド 番 号 9 0 4 1  
上 場 取 引 所 東証プライム市場  
問 合 せ 先 経営戦略部長 森 本 清 士  
(TEL 06-6775-3424)

連結子会社（株式会社近鉄百貨店）の業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社近鉄百貨店が、令和4年4月12日に公表した令和5年2月期（令和4年3月1日～令和5年2月28日）の通期の業績予想を別添資料のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

なお、これによる当社の連結業績予想の修正はありません。

以 上



2022年9月27日

各位

会社名 株式会社 近鉄百貨店  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 秋田 拓士  
(コード番号8244 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役常務執行役員 業務本部長 八木 徹  
(TEL. 06-6655-7030)

### 業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年4月12日に公表いたしました2023年2月期（2022年3月1日～2023年2月28日）の第2四半期累計期間および通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 連結業績予想数値の修正について

###### (1) 第2四半期連結累計期間（2022年3月1日～2022年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	50,600	△600	△700	△100	△2.48
今回修正予想（B）	51,300	△130	170	420	10.57
増減額（B－A）	700	470	870	520	—
増減率（％）	1.4	—	—	—	—
（ご参考）前期第2四半期実績 （2022年2月期第2四半期）	47,285	△1,435	△976	△881	△21.83

###### (2) 通期（2022年3月1日～2023年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	107,800	2,000	1,600	1,300	32.20
今回修正予想（B）	106,800	2,100	2,300	2,000	50.33
増減額（B－A）	△1,000	100	700	700	—
増減率（％）	△0.9	5.0	43.8	53.8	—
（ご参考）前期実績 （2022年2月期）	98,146	△1,399	△572	△775	△19.21

## 2. 個別業績予想数値の修正について

### (1) 第2四半期累計期間 (2022年3月1日～2022年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	42,400	△700	△900	△200	△4.95
今回修正予想 (B)	43,200	△380	△50	320	8.05
増減額 (B - A)	800	320	850	520	—
増減率 (%)	1.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年2月期第2四半期)	38,969	△1,567	△1,194	△970	△24.04

### (2) 通期 (2022年3月1日～2023年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	90,400	1,500	900	900	22.29
今回修正予想 (B)	90,400	1,600	1,700	1,700	42.78
増減額 (B - A)	0	100	800	800	—
増減率 (%)	0.0	6.7	88.9	88.9	—
(ご参考) 前期実績 (2022年2月期)	81,643	△1,872	△1,358	△1,150	△28.50

## 3. 修正の理由

2023年2月期第2四半期(累計)の個別業績につきましては、新型コロナウイルス第七波の影響があったものの、外商売上や入国制限の緩和に伴い免税売上が高額品を中心に好調に推移したことにより、売上高及び営業利益が前回発表予想を上回る見通しとなりました。連結業績においても、卸・小売業において外車販売が好調に推移したため、売上高、営業利益いずれも、前回発表予想を上回る見通しとなりました。さらに、個別において前回発表予想で見込んでいなかった雇用調整助成金などを営業外収益に計上しますので、個別・連結ともに経常利益及び四半期純利益の増益幅が拡大する見通しであります。

2023年2月期通期の個別業績予想につきましては、引き続き高額品を中心に好調に推移するものの、消化仕上の売上割合が増加すると見込み、売上高は前回発表並みを予想しております。営業利益については、エネルギーコストの上昇などを織り込みますが、前回発表予想を上回る見通しであります。連結業績においては、卸・小売業において水産物の価格高騰による卸売の減少が影響し売上高は減少するものの、営業利益においては前回発表予想を上回る見通しであります。さらに、第2四半期累計期間と同様の理由により、個別・連結ともに経常利益及び当期純利益の増益幅が拡大する見通しであります。

なお、新型コロナウイルス感染症による業績への影響が当連結会計年度末まで継続すると見込んでおりますが、実際の感染症の影響や消費動向等により、当予想は変動する可能性があります。今後の業績動向を踏まえ、修正が必要となる場合には速やかに公表いたします。

(注) 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上